

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科医師臨床研修指導医講習会費			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課		課長：田口 円裕		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成18年7月3日医政発0703011号「歯科医師臨床研修指導医講習会の実施について」				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医師臨床研修の円滑な推進を図るために、研修プログラム責任者として十分な資質をもつ歯科医師を養成する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	プログラム責任者講習会 歯科医師臨床研修のプログラム責任者を養成するために実施する講習会に必要な経費に対する財政支援を行う。 補助率：定額								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	3	3	3	3	0		
	執行額	3	3	3					
	執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	前年同程度の人数が参加できるように講習会を実施する。	プログラム責任者講習会受講者数	成果実績	人	40	40	39	-	-
			目標値	人	40	40	40	-	40
			達成度	%	100	100	97.5	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	プログラム責任者配置施設数(単独型・管理型臨床研修施設)	活動実績	施設	260	264	274	-		
		当初見込み	施設	252	260	264	274		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	千円	75	75	76.9	75	
	X:「執行額(28年度は予算額)」 Y:「プログラム責任者講習会受講者数(28年度は目標値)」		計算式	X/Y	3/40	3/40	3/39	3/40	
平成28-29年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医療関係者研修費等補助金	3							
	計	3	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること										
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標 I-2-2)										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	講習会受講者数が増加することで、研修歯科医に対してより充実した教育・指導を行う研修プログラムを策定・管理する臨床研修施設が増加するため、医療従事者の資質向上につながる。											
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	プログラム責任者を養成し、歯科医師臨床研修制度の円滑な運用を行うという社会ニーズを反映している。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	全国的に展開する必要があるため、国で実施すべき。							
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	歯科医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令第3条の九において、プログラム責任者を適切に配置していることとされており、プログラム責任書を養成し、歯科医師臨床研修制度を円滑な運用を行うため、優先度の高い事業である。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	実施にあたり、募集団体をHPに掲載して広く公募し、評価委員会で実施団体にかかる評価を行い事業者の選定を行っており、競争性は確保しているが、一者応札となった。							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有								
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	交付要綱において補助対象等を定めており、負担関係は妥当である。							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	交付要綱に定められた合理的でかつ必要な経費に限られているため、単位当たりのコスト水準は妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	補助事業であり、交付申請書を審査して事業に必要なものに限定して交付している。							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	受講者数は概ね前年度と同程度の水準で推移している。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	医療提供体制の充実を図るため実施する必要があり、補助事業での実施がもっとも有効である。							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	概ね見込み通りの箇所数で実施されている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-							
	所管府省・部局名	事業番号	事業名									
点検・改善結果	点検結果	平成27年度の受講者数は前年度から1名減少したが、毎年概ね一定数が受講しており、歯科医師臨床研修を円滑に推進するために当事業は必要である。										
	改善の方向性	平成25年度から平成27年度の予算額の執行率は100%であり、引き続き適切な執行をして参りたい。										

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

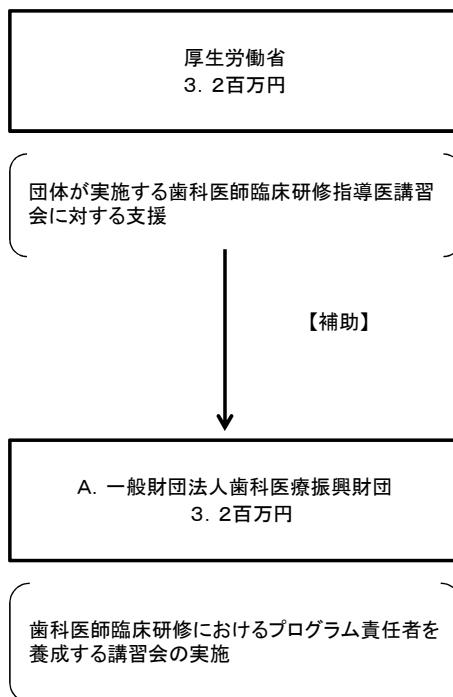
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	95	平成23年度	79	平成24年度	58	
平成25年度	47	平成26年度	52	平成27年度	55	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万
円)

